

(公印省略)  
入札参加者 各位

7営設2485号  
令和7年12月3日

福岡県建築都市部営繕設備課長

新福岡県立美術館新築機械設備工事 設計図書に関する質疑回答書

NO	図面番号	質 疑	回 答
1	設計図書	特記仕様書で一般部の給水管の管材についてSGP-VA とVB が併記されています。 上水管はSGP-VB、雑用水管はSGP-VB を正としてよろしいでしょうか。	上水管はSGP-VB、雑用水管はSGP-VAです。
2	設計図書	特記仕様書でピット部の給水管の管材についてSGP-VD とPD が併記されています。 上水・雑用水共にSGP-VD を正としてよろしいでしょうか。	上水はSGP-VD、雑用水はSGP-PDです。
3	設計図書	特記仕様書でポンプ基礎は「防振基礎」と記載がありますがコンクリート基礎は建築工事で機器に付属する防振架台を設備工事と考えてよろしいでしょうか。	コンクリート基礎は別途(建築工事)、防振架台は本工事です。
4	設計図書	特記仕様書にポンプアップ排水管の管材の記載がありません。 「凡例」に記載されている配管用炭素鋼管(白)を採用してよろしいでしょうか。	良いです。
5	設計図書	特記仕様書に厨房排水管の管材について記載がありません。 「凡例」に記載されている硬質塩化ビニルライニング鋼管を採用してよろしいでしょうか。	良いです。
6	設計図書	厨房排水管を硬質塩化ビニルライニング鋼管とする場合、MD継手は厚膜ナイロンコーティング継手でしょうか。	ナイロンコーティング等、厨房排水(高温)に対応できる継手としてください。

NO	図面番号	質 疑	回 答
7	設計図書	特記仕様書に「からし運転」要領について美術品搬入までの間の室内濃度測定は各空調機毎のレタンダクトで測定するかたちでよろしいでしょうか。 もしくは各室毎に測定でしょうか。	空調対象室にて測定を行います。
8	設計図書 AC-006	図面番号AC-006 に記載のある脱臭装置について地下階機械室E の排気系統に設置するAF-B1-9 の脱臭対象を御教示ください。	AF-B1-9は、汚水槽清掃時に室内に出る臭気を脱臭対象としています。
9	設計図書 AC-006	図面番号AC-006 に記載のある脱臭装置について地下階倉庫C の排気系統に設置するAF-B1-4 の脱臭対象を御教示ください。	AF-B1-4は、汚水槽清掃時に室内に出る臭気を脱臭対象としています。
10	設計図書	特記仕様書に屋外ダクトの材質指定がありません。 屋外ダクトの材質は熔融アルミニウム垂鉛メッキ鋼板ダクトとしてよろしいでしょうか。	良いです。
11	設計図書	特記仕様書で「アワーメーター」と「度数計」を「指定機器」に設けるように記載がありますが、指定機器を御指示ください。	図面内に記載のある計量機器類全てが対象となります。
12	設計図書	空調ドレン管材について、「特記仕様書」と「凡例」で相違があります。 パッケージエアコンのドレン管は結露防止層付き塩化ビニル管を正としてよろしいでしょうか。	C-011を正とし、場所別に耐火二層管、VPを採用してください。
13	設計図書	空調機の空調ドレン管材は空調機からトラップまでを一般配管用ステンレス鋼管としてよろしいでしょうか。	ピット解放部までステンレス鋼管としてください。
14	設計図書	パッケージエアコン、空調機以外の空調ドレン管はVP を正としてよろしいでしょうか。	一般部は耐火二層管、ピットはVPとしてください。

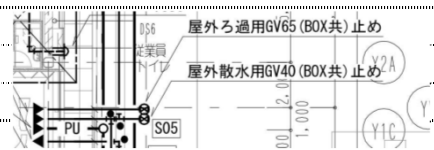
NO	図面番号	質 疑	回 答
15	設計図書	特記仕様書で加湿給水管の管材はSGP-VA と記載されていますが、 凡例は水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管となっています。 SGP-VA を正としてよろしいでしょうか。	良いです。
16	設計図書	特記仕様書の「13.空気調和設備 15.保温 ホ」の欄に、 「内貼りチャンバー等の保温は要」と記載がありますが誤記と考えて よろしいでしょうか。 (内貼りチャンバー等の外巻き保温は不要としてよろしいでしょうか。)	内貼りチャンバー等の外巻き保温は不要です。
17	設計図書	改修工事についてハツリ(コア抜き)工事についての記載がありません。 既設建物が木造のためハツリ(コア抜き)は不要なものと考えて よろしいでしょうか。	良いです。
18	設計図書	特記仕様書で「屋外露出・多湿箇所」の保温外装についてステンレス鋼板と ガルバリウム鋼板が併記されています。 ガルバリウム鋼板を正としてよろしいでしょうか。	ステンレス鋼板としてください。
19	設計図書	特記仕様書でネック径が200φを超えるシーリングディフューザーには 500×500×300H のボックスを設けるように記載されていますが、 制気ロリストと相違があります。 制気ロリストを正としてよろしいでしょうか。	制気ロリストのとおりです。
20	設計図書	改修工事についてアスベスト含有調査においてアスベストの含有が 判明した場合に発生する費用については別途とさせていただきますが よろしいでしょうか。	良いです。
21	設計図書	特記仕様書の保温仕様で冷媒管にも保温を施すように記載されていますが、 冷媒用被覆銅管に重ねて保温を施すものと考えてよろしいでしょうか。	採用する冷媒管被覆銅管にて、国交省の公共建築工事標準仕様書に準拠した 保温性能を確保できる場合は不要。確保できない場合は、重ねての保温とする こと。
22	設計図書	特記仕様書とバルブリストで保温の仕様に相違があります。 特記仕様書を正としてよろしいでしょうか。	良いです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
23	設計図書	制気ロリストに記載のある形式:NZ-A は自動到達距離調節ノズルのことで あると考えてよろしいでしょうか。	良いです。
24	設計図書 AC-209	図面番号AC-209 に配管用支持架台リストがありますが、 詳細図に表記が無いため数量の確認ができません。 リストの数量が正であると考えてよろしいでしょうか。	良いです。
25	設計図書 AC-501	図面番号AC-501 に記載のある床置きダクト接続型室内機(ACP-2-2-1)に 付属品の記載がありません。付属品の詳細を御教示ください。	防振架台、ロングライフフィルター(予備不要)、フィルターボックス その他標準付属品一式です。
26	設計図書 AC-604	AC-604 に記載のある空調ドレン管は屋外配管が作図されていません。 最寄りの排水桝にトラップ桝を介して接続するかたちとしてよろしいでしょうか。	雨水浸透ます(φ100,300H)に接続とし、雨水桝および土工事が必要です。 工事は設計変更対象とします。 別途図面(参考図1)を添付します。
27	設計図書 P-601	図面番号P-601 に桝番号7 は既存桝とありますが、 排水桝表に記載があります。 新設桝として見積り計上してよろしいでしょうか。	良いです。
28	設計図書 P-602	図面番号P-602 のアートインフォメーション床下配管は 全て土間埋設配管と考えてよろしいでしょうか。	トイレ下部はピットがあるため、ピット内配管となります。 アートインフォメーションには、土間配管はありません。
29	設計図書 P-603	図面番号P-603 にある桝リストは既存の排水桝リストであるものとして 見積り計上する必要はないものと考えてよろしいでしょうか。	良いです。
30	設計図書 P-604	図面番号P-604 の茶会館床下配管は全て土間埋設配管と考えて よろしいでしょうか。	本工事では、別途(建築)工事にて撤去した床下にて、 床下配管の撤去および配管の新設を行います。

NO	図面番号	質 疑	回 答
31	設計図書 P-605	図面番号P-605 のポンプ室内に記載のある排水桝500口×600H は 桝蓋共に建築工事としてよろしいでしょうか。	建築工事です。
32	設計図書 P-605	図面番号P-605 の桝及び蓋の仕様が不明です。御教示ください。	インバート桝 900φ 鋳鉄製防臭蓋(重荷重)です。
33	設計図書 P-701	図面番号P-701 で建物廻りの排水管は撤去対象になっていますが 建物内が不明です。 図面に記載のある「便所器具表」、「台所器具表」その他配管を全て 撤去するかたちで見積り計上してよろしいでしょうか。	良いです。 また、建物内配管・配管付属品も全て撤去対象です。
34	設計図書 P-701	図面番号P-701 で建物内撤去工事を本工事とする場合、 土間コンクリート研りは別途建築工事としてよろしいでしょうか。	別途建築工事です。
35	設計図書 P-703	図面番号P-703 で撤去対象は衛生器具撤去リストに記載のある衛生器具で 土間配管及び床排水金物類は残置としてよろしいでしょうか。	男子・女子便所は配管・配管付属品含め「新設配管」と図示されている部分全て が撤去対象です。 露地便所は、床上配管が全て撤去対象となり、衛生器具はいづれも全て撤去です。
36	設計図書 P-703	図面番号P-703 で土間配管、床排水金物類の撤去を本工事とする場合、 土間コンクリートのハツリは別途建築工事としてよろしいでしょうか。	男子便所・女子便所は床の撤去および新設工事が全て別途(建築)工事です。
37	設計図書 P-704	図面番号P-704 で撤去対象は図面内に明細が記載されている機器及び 配管類とし土中埋設の融着ポリエチレン管300φは残置するものと 考えてよろしいでしょうか。	土中埋設配管も撤去対象です。(土工事込)
38	設計図書 P-801	図面番号P-801 の工事範囲について機器表に記載のある内容は全て本工事 とし、淹ポンプ等は別途と考えてよろしいでしょうか。	良いです。 今回工事対象は、池濾過用ポンプのみです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
39	設計図書	茶会館、茶室のガス配管は既設利用のため ガス工事は無いものと考えてよろしいでしょうか。	既存事務所に共有していたガス配管の撤去および撤去後の安全確認は本工事 です。 茶会館、茶室の系統は既存利用とし、ガス工事はありません。
40	設計図書	機器の耐塩仕様について空調機器のモジュールチラーは耐塩仕様ですが、 衛生機器のヒートポンプ給湯器は耐重塩害仕様になっています。 またエアコン室外機は耐塩仕様に関する表記はありません。 機器表通りの仕様でよろしいでしょうか。	空冷HPパッケージエアコン(ACP)は、全て耐塩害仕様です。
41	設計図書 C-010 AC-102	ダクトの保温について、駐車場・車路部分は「屋外露出」同等としてよろしいで しょうか。ご指示願います。	良いです。
42	設計図書 C-009 AC-102	ダクトの保温範囲について、内貼りチャンバー等の保温「要」とありますが、 内貼り付きのチャンバー・制気口BOX・消音エルボは外面保温不要と考えて よろしいでしょうか。ご指示願います。	良いです。
43	設計図書 C-010 AC-102	換気EA ダクト及び全熱交換器EA ダクトの保温範囲は、AC-102:保温要領図 より、外壁から1.0mまでと考えてよろしいでしょうか。ご指示願います。	発注では保温要領図のとおり、外壁から1.0mまでとしております。
44	設計図書 C-010 AC-102	排煙ダクトHFD から排煙口までの保温について、AC-102:保温要領図で「GW25t」 と記載されていますが、保温GW25tは屋内隠蔽部分に施すものとし、本工事では 駐車場内露出のため保温不要と考えてよろしいでしょうか。ご指示願います。	断熱処置として、GW25tを施工してください。
45	設計図書 AC-023	ガラリチャンバーは全て内貼り無し・外面保温ありと判断してよろしいでしょうか。 ご指示願います。	良いです。公共建築工事標準仕様に準拠し施工願います。
46	設計図書 AC-023	板厚1.6tのガラリチャンバーについて、外面保温材はRW25tとして よろしいでしょうか。ご指示願います。	良いです。公共建築工事標準仕様に準拠し施工願います。

NO	図面番号	質 疑	回 答
47	数量書	制気口BOX 廻りのフレキダクト長さは1.5m(本)としてよろしいでしょうか。 ご指示願います。	500mm程度までの最低限の使用とします。 原則、スパイラルもしくは長方形ダクトで施工してください。
48	設計図書 C-011 AC-101～111	凡例及びダクト図中に「FD2 2 時間耐火ダンパー」の記載がありますが、 詳細仕様等が不明です。参考メーカー等ご教示願います。	発注図のとおりとし、当県として特にメーカー指定は行っておりません。
49	その他	「11 入札時積算数量書」の種目別内訳で「1F カフェ・レストラン」等分かれて おりますが、図面上区分点が不明です。 見積上分ける必要があれば区分点の分かる図面の開示をお願いします。	別途図面(参考図2)を添付します。 対象室内設置物、対象室のために設置されている空調機類およびダクト類が 区分対象です。 1Fカフェレストランの衛生設備は、シャフト内系統バルブ以降の配管、 3Fカフェは、区画内配管が対象です。 給湯は、給湯器から厨房器具まで全ての配管が対象です。
50	設計図書 P-603、604 P-702、703	茶会館 男女便所の衛生床下配管の撤去更新工事において、床下にはピットが あるものと考えて宜しいですか。ご指示願います。	良いです。
51	設計図書 P-603、604 P-702、703	露地便所の衛生配管の更新工事において、床立上配管は給水管のみと考えて 宜しいですか。ご指示願います。	良いです。
52	設計図書 P-605	ポンプ室給水管の接続先は「P-104 1 階配管平面図参照」と記載があります。 屋外ろ過用GV65 止めに接続と考えて宜しいですか。ご指示願います。	良いです。
53	設計図書 P-108、114	雨水濾過設備の管種について、逆洗排水管及び濾過機排水管はVP、 その他特記なき配管は雑用水に準ずると考えよろしいでしょうか。ご指示願います。	良いです。



NO	図面番号	質 疑	回 答
54	設計図書 C-009	C-009、2.仮設工事 ①監督員事務所 設置する備品の内訳をご教示下さい。	詳細については、業者決定後協議にて決定します。
55	設計図書 C-009	C-009、3.共通工事 ③耐震施工 重要機器・水槽をご教示下さい。	熱源機器：AHP 空調機器：ACU、ACP 給水装置：TW.PU-1,2 になります。
56	設計図書 C-009 AC-108～AC-111	C-009、10.換気設備 ④ダクトの分岐方法・13.空調設備 ⑨ダクト分岐 AC-108～AC-111、ダクト詳細図(1)～(4) 特記仕様書には割り込み方式と記載されていますがダクト詳細図では直付け方式と なっております。ダクト詳細図通り直付け方式でよいと考えてよろしいでしょうか。	ダクト詳細図のとおり、直付け方式となります。
57	設計図書 C-009 AC-001～AC-008	機器仕様については機器表記載の機器特記事項を正と考えてよろしいですか。	良いです。
58	設計図書 C-009	C-009 13-⑬ 防振吊りの対象機械室が記されていませんが不要と考えてよろしいでしょうか。 (平面図、詳細図にも特に記載ございません)	ダクト・配管類については防振吊りは不要です。 機器防振仕様は、各機器表内記載の防振措置が必要です。
59	設計図書 C-009	「13.空気調和設備1.温湿度調整目標値」に○の記載ございませんが 適用されないと考えてよろしいでしょうか。	13空気調和設備 1.温湿度調整目標値は適用します。
60	設計図書 C-009	「13.空気調和設備1.温湿度調整目標値」において展示室・収蔵庫の温湿度は 運用上変更することはないと考えてよろしいでしょうか。	運用上変更します。
61	設計図書 C-009	C-009、13.空気調和設備30. からし運転」 ケミカルフィルタ補修対象の化学物質の種類、許容濃度をご教示下さい。	アンモニア：30ppb 酢酸：170ppb ギ酸：10ppb ホルムアルデヒド：80ppb アセトアルデヒド：30ppb



NO	図面番号	質 疑	回 答
62	設計図書 C-010	C-010、18.建設副産物の処理について 特別管理廃棄産業廃棄物 廃石綿等事前調査の内容をご教示下さい。	撤去対象となる「事務所」「茶会館」のダクト等に対し、事前調査を行う。
63	設計図書 C-010	18.建設副産物の処理についての特別管理産業廃棄物関連は本工事では 適用されないと考えてよろしいでしょうか。	No62の事前調査にて該当物質が検出された場合、適用します。
64	設計図書 C-012 AC-008	排煙機盤(盤本体・排煙機～制御盤間及び制御線)の工事区分は空調工事、 電気工事のどちらでしょうか。 (排煙機側盤とすると空調工事区分、動力制御盤とすると電気工事区分) また空調工事の場合、耐熱盤の指定はないと考えてよろしいでしょうか。	排煙機盤は本工事(空調)です。 排煙機の発停制御は別途(電気)工事です。(手動開放装置～火報盤、火報盤～排煙機制御盤) 制御盤～排煙機への電源供給も別途(電気)工事です。 耐熱盤の指定はございません。
65	設計図書 AC-001	モジュールチラーのモジュール間の電源配管・配線は電気工事と考えて よろしいでしょうか。	本工事です。
66	設計図書 AC-001	モジュールチラー、水冷ヒートポンプチラーの最高使用圧力は980kPa と考えて よろしいでしょうか。	良いです。
67	設計図書 AC-002	空調機・外気処理空調機の加湿器で蒸気式とあるが、蒸気式の方式を ご教示下さい。(電極式、電熱式、etc.)	電熱式蒸気です。
68	設計図書 AC-002 AC-006	ケミカルフィルタSV 値は55,000 未満と考えてよろしいでしょうか。 またフィルターの選定にあたりケミカル除去対象物やその効率もしくは 吸着仕様(活性炭とか化学吸着とか)等の指定ございましたらご教示下さい。	良いです。 No61の回答が吸着対象です。(Sox/Nox/NH3/H2S/有機物/ホルムアルデヒド) 高性能活性炭に添加剤を加えたものを想定していますが、吸着仕様に指定は ありません。
69	設計図書 AC-002 AC-318	ACU-2-2～7 等の蒸気加湿は、計装図から電熱式加湿器と読み取れますが、 高温排水が直接放流されない排水温度低下仕様と考えてよろしいでしょうか。	良いです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
70	設計図書 AC-004	パッケージ型空調機において、R32 冷媒対応に必要な安全装置の方式、 対応が必要な室をご教示下さい。	機器表内右側冷媒漏洩対策のとおりです。
71	設計図書 AC-006	FU-4-1 ケミカルフィルタの予備は200%と考えてよろしいでしょうか。	良いです。
72	設計図書 AC-007 AC-008	11kW以上の送風機に騒音振動規制法●印ついておりますが、 7.5kW 以上でなくてよろしいでしょうか。	記載頂いたとおり、7.5kW以上が該当します。
73	設計図書 AC-010	PC-1-1 等の蓄熱槽廻りのポンプに呼水槽等は不要でしょうか。 ポンプは自吸式ではありませんが運転開始に問題はないと考えて よろしいでしょうか。	発注ではポンプに呼水槽は不要としておりますが、現場施工図にて 監理者と協議し、必要であれば変更の対象とします。
74	設計図書 AC-013	機器表では蒸気式加湿器となっておりますが詳細図では全て気化式の図となつて おります。どちらを正と考えたらよろしいでしょうか。	AC-002機器表のとおりとしてください。
75	設計図書 AC-201	ACU 廻りで蒸気式加湿器の空調機に加湿用補給水が2系統に分岐しそれぞれ MV が設置されておりますが、これは蒸気式加湿器を2台設置するという 意味でしょうか。 機器表では加湿器は1台ですがどちらを正と考えたらよろしいでしょうか。	蒸気式加湿器は1台(分割なし)とし、1系統としてください。 気化式は機器表のとおり、2分割としてください。
76	設計図書 AC-201	冷水・温水系統に補給水が接続されておりますが、減圧弁ございません。 加圧給水ポンプの場合、系統内圧力が不安定となりますが不要と考えて よろしいでしょうか。	減圧弁を設置してください。
77	設計図書 AC-201	蓄熱槽廻りでバルブ等の詳細が不明です。 落水防止対策は不要と考えてよろしいでしょうか。	発注では落水防止対策は不要としておりますが、現場施工図にて 監理者と協議し、必要であれば変更の対象とします。

NO	図面番号	質 疑	回 答
78	設計図書 AC-209	AC-013 等と個数が違います。どちらを正と考えたらよろしいでしょうか。 例：膨張タンクの溶解栓（可溶栓）の数、ヘッダーのタッピング等	AC-013が正です。
79	設計図書 AC-312	水冷ヒートポンプチラー廻りの密閉式膨張タンク監視は不要と考えてよろしいでしょうか。	TEX-1CR/HR,2C/H(計4)の圧力異常警報が必要です。
80	設計図書 AC-501	茶会館及び茶室のパッケージエアコンの集中管理リモコンは不要と考えてよろしいでしょうか。	集中管理リモコンは必要です。
81	設計図書 P-703	茶会室便所、露地便所の床下に人が入って作業できる高さのビットはありますか。ない場合、床はつり復旧が発生しますが、設備としては別途工事と考えてよろしいでしょうか。	茶会館便所は質問No30に記載のとおり、既存は土間ですが、別途工事（建築）にて床撤去を行い、既存配管の撤去および配管の新設を行います。 露地便所は土間配管となっております。人の進入はできませんので、床上の配管が更新対象です。床はつりは別途（建築）工事です。
82	設計図書 P-704	屋外池ろ過配管の撤去にともなう舗装道路、樹木などの撤去・復旧は別途工事とし、衛生工事では掘削と配管撤去を見込むと考えてよろしいでしょうか。	良いです。
83	設計図書 P-704	新設美術館建設に伴い、武道館・弓道場の撤去が発生すると思われますが、その撤去に伴う機械設備工事は別途工事としてよろしいですか。	良いです。
84	設計図書	自動制御設備 24 時間運転の部屋は無いと考えてよろしいでしょうか。 24 時間運転対象室の系統に気化式加湿器があった場合、24 時間に1 回 臭気対策で乾燥運転が必要となります。必要な場合運転方法をご教示下さい。	24時間運転の室はありますが、気化式加湿器の対象室に24時間運転の室はありません。
85	設計図書	ZEB 認証のための資料作成は別途と考えてよろしいでしょうか。	良いです。ただし、機器仕様の資料提供は必要です。